

2020—21 年度 会長方針（案）

2019 年 12 月 5 日

【1】委員会活動を通してロータリーを学び親睦を深める。

★3 年制委員会の確立（細則に準じた委員会構成）

細則第 8 条委員会：クラブ委員会は、奉仕部門に基づいたクラブの年次目標および長期目標を実行する責務を担う。会長エレクト、会長、直前会長は、指導の継続性と計画の一貫性を図るよう協力すべきである。継続性を保持するため、可能であれば、委員会委員が同じ委員会を3年間努めるよう任命すべきである。会長エレクトは、任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員会委員長を任命し、企画会議を設ける責務がある。委員長は、同委員会の委員としての経験を有していることが推奨される。常任委員会は次の通り任命されるべきものとする。（2017 年 6 月版：5 大奉仕の導入年）

(1) 委員各位が細則の委員会定義と任務の内容を把握し、活動して頂きたい。その上で細則・内規の見直しが必要と思われたら理事会へ提案して下さい。

※クラブ戦略策定委員会の提案 「新入会インフォメーションの強化と指導」

(2) 2020-21 年度から、細則第 8 条のクラブ奉仕委員会（出席委員会を含む）を取り入れ、クラブ奉仕に関する方策考案を検討して頂きたい。

2012-13 年度（45 周年）細則変更（CLP 導入年度）

2017-18 年度現在の細則開始（50 周年）（最新細則：2017 年 6 月版）

細則第 9 条委員会の任務

第 3 節 クラブ管理運営委員会：この委員会は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任を持ち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。委員長は委員会の定例会合に責任を持ち、全活動について理事会に報告するものとする。

(a) クラブ奉仕委員会（出席委員会を含む）：この委員会は、本クラブの会員が、クラブ奉仕に関する事柄においてその諸責務を遂行するうに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施すると共に、全ての会員があらゆるロータリーの会合に出席することを奨励する。特に、クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の責務を奨励し、出席規程を周知せしめ、出席率の向上に努める。

(b) 親睦活動委員会：この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーションおよび社交諸活動への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課す任務を果たすものとする。

(3) 全ての委員会が1回以上のフォーラムを開催し、活動計画と進捗状況等を報告する。特に、会員増強委員会、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・青少年奉仕委員会は3回以上のフォーラムを開催して頂きたい。

※クラブ戦略策定委員会の提案 「会員参加型の楽しい事業の検討、対象事業の明確化」
「会員増強：会員への積極的なアプローチ、会員からの情報などを検討など」

(4) 事業計画書と事業報告書を理事会に提出して承認を必ず受ける。

細則第8条委員会 (b) 各委員会は、本細則によって付託された職務および会長または理事会が付託する事項を処理すべきものとする。理事会によって特別の権限を与えられた場合を除き、これらの委員会は、理事会に報告してその承認を得るまでは行動をおこしてはならない。

【2】 寄付目標

ロータリー財団寄付目標 (一人当たり年間目標 200 ドル)
ニコニコ箱目標額 (一人当たり年間目標 24,000 円)
クラブニコニコ箱目標額 (一人当たり年間目標 24,000 円)
米山記念奨学金目標額 (一人当たり年間目標 20,000 円)

※クラブ戦略策定委員会の提案 「ニコニコ箱の独自運用推進と目標 100%達成」

※R 財団補助金を毎年申請して有効活用するよう努める。

【3】 5大奉仕委員会による5大奉仕事業を毎年度実施するよう努力する。

(細則第7条：クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕)

※2020-21年度奉仕事業計画案

※クラブ戦略策定委員会の提案「地域に密着した事業の模索」

★社会奉仕事業 (3ヶ年計画概要)

- ・山科の農業用水の歴史を調べ、現在の利用状況等を記録(映像)に残し、子供たちが未来の山科について考える冊子を製作する。
(動画・写真などをネットにアップし、QRコードで見られるようにする。)
- ・京都市小学4年生の社会科には、琵琶湖疎水について勉強する時間が15時間あり、小学5年生では地元産業の職業体験時間がある。
- ・琵琶湖疎水に関する書物はたくさん出版されているが、山科の農業用水に関する資料はほとんどない。
- ・小学校の副教材として活用できる内容にまとめ、京都市に寄贈する。
1年目：農業用水のマップ作りと利用状況等の映像記録⇒同時ネットアップ
子供たちが農業用水の水を使って野菜を作り、収穫し、収穫した

ものを料理する。そして料理したものの活用方法について考える。
2年目：1年目の内容等を再確認して、さらにレベルアップした内容にまとめる。

3年目：副教材本の製作・寄贈（京都市の全小学校へ寄贈する）

★国際奉仕事業（2～3ヶ年計画）

※クラブ戦略策定委員会の提案「グローバル補助金申請の具体化」

グローバル補助金事業「デング熱の疾病予防」フィリピンケソン市

★青少年奉仕事業（地区補助金事業：3ヶ年計画）

院内学級とそこからの拡大事業計画

※R財団補助金交付限度額(クラブ予算120万円に対して地区補助金120万円)

【4】ホームページの活用と My Rotary への登録

※会員コーナー（MEMBER）の活用

年次報告書、理事会議事録、記念誌、定款・細則・内規、就業規則などを掲載する。（参考：2019-20財団補助金ハンドブックを掲載しました。）

※奉仕事業などが簡単に TP に掲載できる仕組み作り

（告知、報告など、FB の活用を含む）

※英語ページの作成

※各年度奉仕事業の掲載内容見直し（各年度の幹事・担当者がデータ作成）

※国際ロータリーホームページの My Rotary への全員登録を目指す。

【5】新しい取り組み

第2回次年度理事会&次年度委員長会議 開催

2020-21年度会長方針発表と各委員会のクラブ活動計画案の作成依頼

第3回次年度理事会&次年度委員長会議 開催

各委員会のクラブ活動計画書提出と報告

4月21日開催予定の次年度予算案（アッセンブリー）

⇒5/26に日程変更依頼をする

4月28日現年度に、次年度委員長会議をクラブ協議会に変更依頼する。

・クラブ協議会を例会中に開催、例会時間を30分延長依頼する。

・松原ガバナーエレクトに参加要請する。

例会内容：次年度2650地区活動方針、地区協議会参加者より会議内容の報告を受ける。